

委員会の行政調査報告

都市環境委員会

埼玉県
川口市

市民の願いが実現
～くらしに調和する
火葬場づくり～

👉 テーマ選定のポイント

火葬場を「持たないまち」から建設へと転換した先進事例として研究するため。

👉 調査報告

人生の最期の旅立ちの場所はどうあるべきか。川口市では「めぐりの森」という、公園の一部として調和した火葬施設を実現しています。

14万人もの市民から「早期建設の請願」が出されたことをきっかけに計画がスタートし、「斎場を設けない」「外観に配慮する」などの住民意見を取り入れながら合意形成を図りました。住宅から見えにくい低地への配置や、ガラス張りの明るい雰囲気、周辺の緑化など、火葬場というイメージを覆す空間づくりに成功しています。

また、運営面でも30年間の維持費を考慮した料金設定をしていることや、生活道路と施設への動線を分けるなど、細やかな配慮で周辺住民からも好意的に受け止められています。将来の議論に備え、火葬場を「まちの必要な機能」として考える貴重なヒントを得た調査でした。



福祉文教委員会

静岡県
焼津市

「困りごとマルっと
サポートセンター」の
有効性

👉 テーマ選定のポイント

全庁的に課題を共有化し、市長・副市長の許可を得るトップダウン形式を踏襲した支援組織の実践で、とても興味深い先進事例であるため。

👉 調査報告

今までは、課題が複合化した事案や制度のはざまになる事案をどこが主体的に対応するかが明確ではなく、対応が難しい状態であったが、厚生労働省の「重層的支援体制整備事業」がスタートし、課をまたぐ大がかりな体制構築につながりました。

6部長会で、各部署が抱えていた課題を共有し合い、体制整備の必要性を再認識した上で合意形成し、その合意の基に市長・副市長の許可を得るという手順を取りました。このトップダウン形式を踏襲して整えられた支援組織が、「困りごとマルっとサポートセンター」です。

本市においても福祉に関する相談事案は、複雑化、多様化していると考えられます。個々の部署による支援にとどまらず、複数の関係部署が連携して、複合的に支援ができる重層的支援体制の構築を早期に進めていきたいと考えています。





総務委員会

埼玉県
入間市

スポーツでつながる 元気なまちづくり

👉 テーマ選定のポイント

スポーツを通じた健康づくりと地域の魅力向上の工夫を知るため。

👉 調査報告

スポーツを地域の力に変える入間市の取組を学びました。新しいスポーツ文化を応援し、市の魅力づくりや産業の活性化にもつなげています。スポーツアンバサダーの活動や市内事業者との協力など、条例をきっかけに広がる動きが印象的でした。市民が健康でいきいきと暮らせるまちづくりのヒントを得ることができました。



東京都
あきる野市

ミスを防ぎ、市民を支える 監査の工夫

👉 テーマ選定のポイント

市民の安心につながる丁寧で質の高い監査の仕組みを学ぶため。

👉 調査報告

監査の質を高めるための工夫が随所に見られました。事務局との綿密な打合せや、予備監査・本監査の流れを丁寧に確認することで、ミスや見落としを防ぐ体制が整えられています。「人に罪を作らせない」という強い思いが伝わり、市民の暮らしを守る監査の大切さを改めて感じる調査となりました。



議会運営委員会

神奈川県
横須賀市

進化する議会 ～市民の安心と未来を支える～

👉 テーマ選定のポイント

実効性のある政策立案と市民参加を促進する仕組みを知るため。

👉 調査報告

いざという時、議会は機能するのか?横須賀市議会は災害時BCPを策定・改訂し、地震や感染症に備えています。また政策立案では「未来への羅針盤」という実行計画のもと、政策検討会議で課題を抽出し、課題別検討会議で具体策を練る仕組みが特徴的。さらに電子申請システムを活用した請願・陳情のオンライン受付も実施。市民に開かれ、災害にも強い議会づくりの先進事例として、私たちの議会運営にも生かしていきます。



東京都
杉並区

ICTで変わる! より開かれた議会へ

👉 テーマ選定のポイント

議会の情報アクセシビリティ向上と多様な市民参加を知るため。

👉 調査報告

杉並区議会では、「LINE WORKS」を活用し、議会運営の効率化を実現しています。議員と事務局間の連絡・調整が迅速になり、年間140時間もの業務削減効果がありました。また、本会議のライブ配信にAI字幕を導入し、聴覚に障がいのある方も議会を理解しやすくなりました。ICTの積極活用で、災害時の情報共有や議会の開かれた運営も促進。私たちの議会も、より市民に身近で効率的な議会運営を目指していきます。

